

議会の窓

町民の皆さんから「議会ってどんなことをしているの?」と、よくご質問を受けます。主な役割として、皆さんの声を行政に届けること、税金の使われ方や町の仕事が適性に行われているか、チェックをすることなどがあります。その中で今回は、町の予算と議会の関係をお知らせします。

～ 予算・決算の流れ～



町の仕事は、4月が年度初めです。翌年の予算については、前年の10月から各課ごとに相談を始めます。ここ数年は、町民の意見を町政に反映させるために、11月頃に住民懇談会が開かれています。何度も予算を練り直し、最終的には2月中旬ごろ、町長が決定します。

定例議会は、年4回開かれます。3月議会で町長から提案された予算の案を、2つの委員会に分れ各担当の職員から内容を詳しく聞き、審議します。そして、議会の最終日に各議員が、賛成・反対の意思表示をします。

9月議会では、前年度の予算が正しく使われたか審査し、決算を認定するかどうか決めます。

予算・決算のほかに当初の予算では計画していなかった事業を行うための「補正予算」についての審議もあります。補正予算には「専決」といって定例議会を待たず、町長の権限で執行され、議会が承認するものもあります。

このほか、次の定例会まで待てないような緊急な課題については、臨時議会が開かれます。

行政の流れ	月	議会の流れ
新年度の始まり 	4月	主に補正予算の議決
	5月	
	6月 定例会	
	7月	
	8月	
翌年度の予算を作り始める (住民懇談会)  町長の決定	9月 定例会	主に前年度の決算の認定
	10月	主に補正予算の議決
	11月	
	12月 定例会	
	1月	
	2月	
	3月 定例会	主に翌年度の予算の議決

～表紙の写真から～

特に子育て中ということもあり、食の安全や環境問題にも、とても熱心なご夫婦です。

「家族に食べさせたい野菜づくり」を基本に、野菜のセットの宅配など、生産者と消費者が直接つながる「顔の見える販売」を心がけているそうです。

委員 小池 一夫
委員 織田 昭雄
編集委員長 エンジエル千代子
副委員長 織田 昭雄

■議会広報編集委員会

梅雨も明け夏の青空のまぶしい季節になりましたが、米国の「サブプライムローン」に端を発した世界大不況は、私たちの富士見町をも容赦なくその渦中に飲み込んでしまいました。このどん底から脱するには、個人力ではとてもおよびません。これを何とかするのが政治であり、国政を司る国会議員であります。……？

私たち町の議会議員は富士見町の今を、そして、これから未来に向けて次世代にどう引き継いでいくのか、過去の栄光や慣例だけではなく、時の流れや環境の変化を読み、行政とともに柔軟な発想で10年20年先を見るメガネを掛けなくては、と気持ちをひきしめています。
(織田昭雄)

〈編集後記〉